

講演者紹介

平成26年12月13日（土）東京支部総会の特別講演でご講演頂く安彦兼次氏を、ご紹介します。

1965年（昭和40年）秋田大学鉱山学部卒、その後東北大学大学院に進まれ、

以後「高純度金属の研究者」として活動され、現在も世界でご活躍されている方です。

安彦兼次氏

元 東北大学 客員教授

現 ペンシルヴァニア大学 シニアフェロー

現 米国ASTM International Member

講演題目「鉄本来の性質を追及して50年」

一究極の金属“Super Pure Metal”の発掘へー

研究活動

(東北大学大学院 → 東北大学金属材料研究所)

- ・鉄をはじめ金属の超高純度化

- ・含まれる不純物元素の極微量定量

- ・金属本来の性質を追及

☆ 1994～2010年

日仏独米の研究者と共同研究を推進する傍ら「高純度ベースメタル国際会議」を組織し

その委員長として活動し15回開催した。

☆ 世界最高純度の鉄10kgを溶製する事に成功し、その合金の研究を推進した。

☆ その鉄は、鉄中の64種の不純物元素の極微量定量を行い純度99.9996%と

決定され、ドイツBAMのデータベースCOMARにABI KO ultrahighpurity Ironとして登録された。

☆100kgの超高純度金属の溶解炉を開発し、欧米から溶製した金属を

“Super Pure Metal” と名付けられた。

以上